

報道関係各位

2026年6月8日

ヴィアトリス製薬合同会社

### 第3回日本外来精神医学会学術総会・ヴィアトリス製薬共催

## 「心配性、それってGADかも」 全般不安症（GAD）を知る市民公開講座 6月20日（土）に横浜で開催

- GADの特徴から診断・治療の重要性まで、専門医がわかりやすく解説
- GADを経験された当事者がご自身の体験談を共有
- 参加は無料で、オンラインでの視聴も可能

グローバル・ヘルスケア企業の Viatris Inc. (Nasdaq: VTRS) の日本法人であるヴィアトリス製薬合同会社（本社：東京都、社長：キム・ソナ）は、第3回日本外来精神医学会学術総会と共催で、全般不安症（Generalized Anxiety Disorder／以下、GAD）への理解促進を目的とした市民公開講座「心配性、それってGADかも～全般不安症（GAD）を知る：病気のしくみ・診断・治療～」を2026年6月20日（土）にパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）にて開催いたします。

GADは、複数の出来事や活動に対して、慢性的にコントロールできない過剰な「不安」や「心配」を中心症状とする疾患です。不安や心配に加えて、十分な睡眠がとれなくなったり、筋肉が緊張して凝ったりなどの身体症状や、落ち着かない、疲れやすい、イライラする、集中できなくなることで、生活や仕事において深刻な機能障害を起こすことがあります<sup>1</sup>。世界保健機関（WHO）の報告によると、日本におけるGADの生涯有病率は2.6%とされており<sup>2</sup>、自己記入式質問票であるGAD-7を使用した最近の研究では、疑いを含むGAD（GAD-7スコアが10点以上）の有病率が7.6%であると報告されています<sup>3</sup>。

一方で、「性格の問題」「心配性だから仕方がない」と考え、医療機関への受診をはじめとする適切な支援につながらないケースも少なくありません。実際に、GADに罹患した経験がある方のうち、医療機関で治療を受けたことのある方の割合は30.9%と報告されております<sup>2</sup>。

これまで日本では GAD に対して承認された薬剤がなかったため、症状に悩みながらも適切な診断・治療を受けられていない患者さんも存在しました。今後は新しい治療選択肢の登場に伴い、ご自身の症状を性格ととらえて我慢してきた方、症状に気づきながらも受診をためらっていた方に GAD に関する正確な情報を理解しやすい形でお伝えすることで、医療機関への受診を通じた適切な治療を促進することが重要になります。

本市民公開講座では、精神科医療の第一線で活躍する専門医が登壇し、GAD の基本的な病態理解から診断や治療について、一般の方にもわかりやすく解説します。また、GAD を経験された当事者にも登壇いただき、体験談を交えたパネルディスカッションを通じて、「GAD とともに生活する」ことへの理解を深める機会を提供します。なお、本講座は、第 3 回日本外来精神医学会学術総会との共催により開催され、参加費は無料です。事前登録を推奨していますが、当日の参加も可能です。また、オンラインでも視聴することができます。

本市民公開講座は、ヴィアトリスが掲げる「世界中の人々が人生のあらゆるステージでより健康に生きられるよう貢献する」というミッションのもと、メンタルヘルス領域における疾患理解の向上と、適切な診断・治療への橋渡しを目的として開催するものです。

ヴィアトリス製薬は、精神・神経疾患を含む幅広い治療領域において医薬品を提供してきた製薬企業として、不安や抑うつといったところの不調に悩む方々が、安心して医療につながる社会づくりに貢献してきました。本講座を通じて、GAD への正しい理解が広がり、早期相談・早期治療につながる一助となることを目指しています。

---

## 開催概要

**名称：** 心配性、それって GAD かも

全般不安症（GAD）を知る ～病気のしくみ・診断・治療～

**日時：** 2026 年 6 月 20 日（土）10:00～11:45（開場予定 9:30）

**会場：** パシフィコ横浜 会議センター 4 階「411+412」

（神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

**参加費：** 無料（会場：定員 100 名・先着順） ※オンライン視聴も可能です

---

## プログラム（予定）

総合座長：一般社団法人日本うつ病センター 名誉理事長 樋口 輝彦 先生

- **開会の挨拶**

第3回日本外来精神医学会学術総会 大会長／神奈川診療所 理事長・所長 赤塚 英則 先生

- **講演 1**

「『ずっと不安』は病気かも ～全般不安症の理解」

医療法人 悠仁会 稲田クリニック 院長 稲田 泰之 先生

- **講演 2**

「全般不安症って知ってますか？：その診断と治療について」

のぞみの丘ホスピタル 院長／岐阜大学 名誉教授 塩入 俊樹 先生

- **パネルディスカッション**

司会：一般社団法人日本うつ病センター 名誉理事長 樋口 輝彦 先生

パネリスト：GAD 当事者

医療法人 悠仁会 稲田クリニック 院長 稲田 泰之 先生

のぞみの丘ホスピタル 院長／岐阜大学 名誉教授 塩入 俊樹 先生

- **閉会の挨拶**

一般社団法人日本うつ病センター 名誉理事長 樋口 輝彦 先生

---

**主催：** ヴィアトリス製薬合同会社

**共催：** 第3回日本外来精神医学会学術総会

**後援：** 横浜市にぎわいスポーツ文化局／横浜市健康福祉局

## 参加・オンライン視聴方法

以下の URL または二次元コードよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/5Ga6SDLrwr>



※事前登録なしでもご参加いただけますが、満席の場合はご入場いただけない場合があります。

### 【全般不安症について】

全般不安症（GAD）は、複数の出来事や活動に対して、慢性的にコントロールできない「不安」や「心配」を中心症状とする疾患です。不安や心配に加えて、十分な睡眠がとれなくなったり、筋肉が緊張して凝ったりなどの身体症状や、落ち着かない、疲れやすい、イライラする、集中できなくなることで、生活や仕事において深刻な機能の障害を起こすことがあります。

### 【ヴィアトリスについて】

ヴィアトリスは、世界中の誰もが人生のあらゆるステージで、より健康に生きられるよう貢献することをミッションとするグローバル・ヘルスケア企業です。私たちは、独創性と確固たる決意をもって果敢に取り組むことで、世界中の患者さんのニーズに応えています。新薬の開発、必要とされる医薬品の安定供給の確保、大胆なイノベーションの追求など、あらゆる場面において、大規模かつ持続可能で効果的な解決策を提供しています。当社は、ジェネリック医薬品、実績のあるブランド医薬品、そしてアンメットメディカルニーズが顕著な領域における革新的な医薬品まで、幅広く機動的なポートフォリオを通じて、社会にインパクトを与えることを目的として設立されました。ヴィアトリスは米国に本社を置き、ペンシルベニア州ピッツバーグ、中国上海、インドのハイデラバードにグローバルセンターを有しています。詳細については、[viatris.com](https://viatris.com) および [investor.viatris.com](https://investor.viatris.com)、[X \(旧：Twitter\)](#)、[LinkedIn](#)、[Instagram](#)、[YouTube](#) をご覧ください。

### 参考文献

1. 高橋 三郎 ほか監訳; “II 診断基準とコード 5 不安症群/全般不安症” :DSM-5-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル 医学書院 p242-246
2. Stein DJ, Kazdin AE, Ruscio AM, et al. Perceived helpfulness of treatment for generalized anxiety disorder: a World Mental Health Surveys report. BMC Psychiatry. 2021;21(1):392.
3. Matsuyama S, Otsubo T, Nomoto K, Higa S, Takashio O. Prevalence of Generalized Anxiety Disorder in Japan: A General Population Survey. Neuropsychiatr Dis Treat. 2024 Jun 26;20:1355-1366.